



真鍋小金管バンド

第28回 文化祭



フラダンス



木田余庵



雪だるまオラフ



面恋会



40号
平成27年2/1
二中地区市民委員会
文化・広報部発行
電話 824-3588
FAX 824-3553



チャレンジクラブ



土浦第二中 合唱



絵画鑑賞



ペーパーフラワー「季節の花」



ちまる

二中地区文化祭を終えて

二中地区コミュニティセンター
所長 野中佑起男

11月16日(日)から23日(日)の8日間にわたり「第28回二中地区文化祭」が、多数の市民の皆さまにご来場をいただき、盛大に開催することができました。

16日から開催しました「文化芸術展」では、小・中学校から選ばれた作品や同好会等が年間の活動を通して作成された作品が会場いっぱい展示され好評でした。

最終日の23日の芸能大会では、小中学生の合奏や合唱で盛り上がり、その後も一般の参加者やカラオケやフラダンスそして大正琴などの同好会の皆さんが練習の成果を十分に発揮した素晴らしい発表や演技を披露してくれました。

それから名物の農産物の展示即売会では、68名の農家組合員の皆様に農産物の提供をいただき、いつもと同じく大盛況で売り切れになりました。その他の模擬店でも、市民委員の方々とチャレンジクラブの子ども達が積極的に仕込みや販売に参加し、煮いかやポップコーン、綿あめ、焼きいもなどを提供し、会場は終日

あふれんばかりのお客様で賑わいました。

このように二中地区文化祭が多くのお客様を得て実施できましたことは、当日の出演者や作品を出品された方々はもとより、会場の準備や運営に協力をいただいた二中地区市民委員会の皆様はじめ、自治会、民生委員、各種団体、小中学校の皆様並びに公民館を使用する同好会等の積極的な協力によるところであり、心より感謝申し上げます。



農産物展示即売会

殿里町 岡田 孝雄

農産物展示即売会は、農家組合員の協力で皆様に安心・安全な農産物を提供することにより、地元農業に関心を持っていただきたく開催しております。今年も小春日和のもと定番の大根、葱をはじめ、日本一の生産量を誇るレンコン、この地域では珍しいザーサイなど多くの農産物が展示されました。即売会では、人気のある野菜から次々と完売し、大盛況のうちには終了することができ、感謝しております。

農業は天候の影響を大きく受けるため毎年同じように作付けしても豊作の年や不作の年になることもあり、生産者は、長年の経験と知恵でそれを回避するよう努力しております、安心・安全な農産物を提供できるような努力しております。今後ともご協力よろしくお願ひ致します。



農産物提供者御芳名

※順不同 敬称略

◆木田余東

今泉 重憲	鳥羽 博司
松浦 将夫	羽成 勇
渡部 芳浩	松浦 英子
岩瀬 常一	松浦 裕之
殿岡 一男	鳥羽 久良
吉田 信茂	羽成 照昭
松浦 春夫	

◆木田余中

久松 武治	山本 衛
山本 悦子	久松 良次
山本 徹夫	

◆木田余西

小野 忠一	久松 正人
山口 栄	川島 一男
吉田 隆行	天谷 陸郎
藤崎 武男	小林 徹
岡田 明	野口 憲一
小野 俊雄	

◆木田余沖

小野 和子	小野 一男
天谷 春枝	高原 厚
小野 丹生	天谷 了子
藤崎 一男	高原 芳夫
酒井 成良	黒田 茂夫
遠藤 繁	小野 昭夫

楽しく描こう水彩画

彩雅会 進士 啓子

彩雅会は平成9年に同好会として発足しました。当初から山形雅史先生のご指導で月二回活動しています。

四季の花・果物・食器などをモチーフに、背景や空気感を含めて水彩画を描いています。制作の過程で、先生から構図のとり方、デッサン・彩色のテクニク、光と影の表現方法などを教わり、最後に、全員の絵を並べて講評をいただきます。同じモチーフの絵を描いても、出来上がるのと十人十色。それぞれの個性が光った作品が見られるので、とてもよい勉強になり、次作へのエネルギーになっています。

文化祭への参加は最大のイベントです。今年も一年間に描いた絵のよ



りすぐりを全員が出品しました。昨年よりちよっとだけ腕を上げた作品をお見せできたでしょうか。

第28回文化祭に参加して

ハーモニクスゆうゆう 飯島 昌彦

今回で五回目のステージ演奏発表の参加となりました。毎回、数曲を選び一年をかけて練習を重ね最終的に発表の三曲を決めています。今回の曲はいかがだったでしょうか。

前々回までは講師の方にも参加して頂きましたが、都合で指導して頂けなくなりました。まい、会員だけの活動となってしまうまいました。

文化祭 会場の設営には毎回参加させて頂いていますが、皆さんが力を合わせテント設営、飾り付け等をして大会を盛り上げようとする意気込みにはいつも感心させられております。



12月からは来年度に向けて練習を始め、又皆さんに喜んで頂ける様活動していきたいと思っております。

今年も「木田余庵」を出店!

一中地区そば同好会 茂田井敏夫

11月はそばの季節。地元で獲れるソバを「常陸秋そば」といい、近年その評価も高まっています。

私たちそば同好会は11月に市の「そばまつり」と二中地区の「公民館まつり」に日頃の成果を発表するため「木田余庵」の名前で常陸秋そばを使ったそば店を出店しています。屋外での販売であるため冷たいそばが出せないのが残念ですが、かけ汁も前日に手作りで仕込んでおり、皆さんからも汁も美味しいと好評をいただいています。

今回もお客さんに「ここのおそばは麺も汁もとても美味しいのでお店の場所を教えてください」と言われ戸惑ってしまいました。でも「木田余庵」を認めてくれたと実感し、これからも会員一同頑張っ行ってけような勇気ももらった気がしております。



- ◆西真鍋
 - 岩浪 信一 須藤 恵一
 - 松岡 勇 塚本 進
 - 羽方 文弥 塙 一男
 - 岩浪 英一 柳澤 朝子
 - 軽部 信二

- ◆東真鍋
 - 海老原 一郎
- ◆殿里東
 - 菊田 忠良 菊田 恒男
 - 菊田 明 菊田 泰弘
 - 菊田 保男 吉田 進

- ◆殿里西
 - 岡田 文男 大塚 健一
 - 小沼 一雄 岡田 豊水
 - 岡田 清 岡田 寿夫
 - 岡田 孝雄
- ◆木田余東台
 - 南川幸之進



平成 26 年度市民委員会専門部事業報告

主な担当事項	実施月日	事業内容
福祉部 地域福祉への参加協力 ふれあいネットワークへの参加協力	6月22日	福祉映画鑑賞会「ノー・ヴォイス」
	9月27日	窓愛園の行事に参加・協力（バーベキュー）
	2月予定	福祉に関する講座
	映画では、日頃ともに生活しているペットとの関わりとそこから生まれる心温まる話に感動しました。窓愛園では子供達との交流で楽しいバーベキューでした。福祉部では、今後も地域の方々と気楽に集い共に楽しんでいきたいです。	
安全部 交通安全思想の啓発 防災防犯活動の推進	月1回	防犯パトロール（真鍋地区）
	4月5日	「真鍋の桜を楽しむ集い」参加協力
		交通安全キャンペーン（夏、秋）
	10月17日	出前講座「知っ得と安心 なるほど講座」
	2月予定	市民講座「放射線と私達の生活 Part 4」
出前講座は、真鍋台婦人学級、木田余東台社会学級と合同で開催しました。コミュニティ活動としては部内では多方面にわたり実施し、専門部合同でも研修等が行われています。しかし、視察研修等を含めて部員間の交流で終わっている傾向があります。今後は部員以外の多くの住民が参加できる方法を考えることが必要と思っております。12月9日には親睦会を開きました。		
スポーツ健康部 各種スポーツレクリエーション活動 健康づくり 健康教室	6月11日	バスハイキング「那須高原」
	8月3日	ラジオ体操 参加協力
	10月12日	二中地区市民体育祭 参加協力
	11月4日	バスハイキング「わたらせ渓谷」
	2月予定	歩く会 参加協力
春は霧の中の那須高原を歩き、今までにない光景でした。これもまた話題の一つ。秋は晴天に恵まれて、わたらせ渓谷と富弘美術館。紅葉と草木湖を見つめての楽しいハイキング、水沼駅にある温泉センターでとても美味しい昼食を頂き、皆さん満足度いっぱいでした。		
環境部 ゴミの減量化資源化運動 環境美化 水質浄化運動 花いっぱい運動 新たなごみ分別収集への啓発	6月	花いっぱい運動、グリーンカーテン運動
	8月、10月	チャレンジクラブ事業 協力（自然環境調査）
	11月7、8日	土浦市環境展 協力
	12月	ポイ捨て防止看板作成、設置
部員と公民館職員の共同でサルビア、マリーゴールドを植え付け、「花いっぱい運動」では「優良賞」でした。ポイ捨て防止ポスターは真鍋小学校児童に作成を依頼し、環境展と二中地区文化祭に展示、その後は環境美化看板として使用しました。チャレンジクラブ事業協力は2回にわたり自然環境調査を行いました。		
青少年育成部 非行防止キャンペーン 地域と学校との連携強化 親子教室 講演会 など	月1回	チャレンジクラブ事業
	8月24日	地域パトロール（鹿島神社例大祭時）
	パトロールは競演会場周辺を中心に青少年委員と育成部合同で、ピアタウンやタイヨー方面と、ヨークベニマルやつくば国際高校方面に分かれて1時間程行いました。特に問題もなく終了しました。今後も良きまちづくりの為に実施していきます。	
文化広報部 広報紙発行 文化講演会の開催 公民館講座への参加推進	9月1日	広報紙「やすらぎ39号」発行
	2月1日	広報紙「やすらぎ40号」発行
	今年度も無事に発行できました。皆様からの地域の情報をお待ちしています。	

※上記以外に下記の事業に参加協力しました。

☆二中地区文化祭 ☆合同視察研修 ☆「土浦市まちづくり市民会議」（土浦市）

バスハイキングに参加して

益子 佐知子

申し込み日より楽しみにしていた11月4日は天気も快晴でした。バスが北へ進む程に車窓から色づく木々が見え楽しさが増していきました。

最初に立寄った富弘美術館では、作者の日常的な行動や気持ち素直に絵と詩に描かれている事に感動しました。

美術館を出てからのハイキングでは、思っていた程険しくない道の日だったので目の前の景色を楽しみながら足元も軽く会話が弾みました。



時には笑い声もあり楽しく歩くことができました。

ハイキングの後は、珍しい温泉付の水沼駅で地元食材を使った料理をおいしく頂き、食後は、美人の湯にゆつたりとつかり温泉を満喫しました。水沼駅の風景が私の田舎の風景と重なりとても懐かしく思いました。満足感いっぱいバスハイキングでした。

企画して下さいだった役員の皆様のご苦労は大変だったと思いますが、今後もバスハイキングを続けて欲しいと思います。毎年楽しみにしています。



わたらせ渓谷

「わらべうた」の集い

井深 はるよ

更生保護女性会では「土浦市子育て交流サロンわらべ・のぞみ」で市から委託されて子育て支援に関わっております。

昔おばあちゃんが、ぎつこんばつたんお舟が通る、等と歌いながら、孫をあやすほのぼのとした光景がよく見られたものです。近年は核家族や生活の多様化等でこの様な姿が少なくなっている様に思われます。

ゆつたりとした親子のふれあいの中で子育てができる為にもわらべうたを推奨し、月一回ボランティアの方に来ていただいております。

今回は初めて多くの人に呼びかけ、去る10月18日二中地区公民館にて開催しました。当日は0才児から若いパパ、ママ94名もの多くの方に参加いただき、うまはとしとし・もみじ・森の熊さん、等皆で歌い暖かい秋の陽ざしの中で楽しく和やかに言う事ができました。最後には手づくりのこまや、かざぐるまのおみやげを手に「楽しかった」と良い笑顔で帰られました。

わらべうたの心で子育てができる様応援していきたいと思えます。

土浦市子育て交流サロン

◎わらべ TEL・FAX 029-825-1030

中高津1-19-20

◎のぞみ TEL・FAX 029-824-8620

東真鍋町2-5

(運営委託：土浦市更生保護女性会)

子育て交流サロンは、乳幼児とその家族がいつでも好きな時間に来て自由に過ごすことのできる施設です。親同士、子ども同士みんな楽しく支えあって一緒に子育てをしましょう。子育てに関する相談等、お気軽にスタッフに声をかけて下さい。



二中地区 地区長紹介(4)

「やすらぎ37号」から四町内ごとに地区長を紹介してきました。それぞれの町の特徴がわかりました！



真鍋新町
和知 五月

趣味：ゴルフ
鮎釣り

真鍋新町は、昭和50年5月の住居表示により、新たに誕生した町です。以前は真鍋、木田余という二つの町の所在となっていました。

水田、蓮根田の中に土浦協同病院がぽつんと建っていました。その協同病院を町中央にして、当時は91世帯、人口268人という小規模でのスタートとなりました。その後、居住地域として恵まれた立地や生活環境等から世帯も増え、二中地区市民体育祭や新川等の町内清掃、お祭り等、各種行事に参加。町民の融和親睦等を深める町になりました。

現在は、550世帯、人口千人余りとなり、自主防災防犯パトロールによる町民の安心安全のための活動も行っています。



殿里
菊田 和男

趣味：アウトドア
フィッシング

殿里町は、農業従事者が多く、しかも高齢化しています。平成24年より団塊世代の人が中心となり、殿里地区資源保全活動組織を設立し農地保全と耕作放棄地が増えない様、特に用水路、排水路の清掃、環境保全に町内全体で活動をしています。又、自主防災に関しては、飲料水の確保として手押し井戸ポンプを取り付け、どんな時でも誰でも使用可能な状態になっています。

殿里公民館も東日本大震災の影響を受け、少なからず心配な所もあります。この様な中で、今では皆が数年後には我が町の公民館を新築したいと望み、色々と作業・協力をしています。豊かできれいな住み良いまちづくりを目指しています。



東都和
吉田 俊夫

趣味：読書、旅行
歩く事

東都和は、平成3年元茨城県住宅供給公社の分譲団地として誕生しました。住民の出身地は土浦市以外多方面に渡り、現在約200世帯が住んでいます。平成5年に東都和団地として自治会が発足し現在に至っています。公社設計の為、集会場・公園等主要施設は設置されており、狭い路地も無く一戸建て住宅がほとんどで整然とした街並みを形成しています。

年二回の祭り（夏祭り、冬祭り）が定着し町内の交流と親睦に役立っています。又、町内有志が集うサークルが約10グループあり、日々活発に活動し発表会も催され、成果を披露しています。歴史ある先輩町内を見習い、時代に即した住みやすいまちづくりを目指しています。

真鍋一丁目	本橋 泰雄
真鍋二丁目	塙 武
真鍋三丁目	皆藤 嘉宏
真鍋四丁目	勝間田 貞美
真鍋五丁目	羽生 佐洪
真鍋六丁目	大川 勝己

東真鍋町	下田 衛
西真鍋町	軽部 孝次郎
木田余町	飯山 孝之
木田余東台一・二	南川 幸之進
木田余東台三・四・五	櫻井 光市
木田余西台	名和 幸二
若松町	鈴木 雅美

※若松町は次回の紹介となります。

土浦市民憲章

わたくしたちは 常陸野にたつ
ゆるぎない筑波と 霞ヶ浦のひろがり
を ころろとして生きる 土浦の
市民です。 この郷土にはぐくまれ
るわたしたちは 秩序ある さわやかな
まちづくりをめざし 期待と
ねがいをこめて ここに市民憲章を
さだめます。

- 一、たがいに信じ 助けあう
あたたかいころろを
そだてましょう
- 一、からだをきたえ 仕事にはげみ
あかるい家庭をきずきましょう
- 一、自然を愛し 水とみどりの
きれいなまちをつくりましょう
- 一、知性を高め 教養をつちかい
文化のみのりをひろげましょう
- 一、伝統をふまえ 未来をみつめる
若い力を のばしましょう

受講生からの 後期講座 声

大人のための英会話

中山 恵子

講師のグレアムラッセルジョンストン先生が、スコットランド出身ということ、自己紹介の時から「マッサンとエリー」で盛り上がりました。日本語を全く話さず、説明もすべて英語で、私に理解できたのはほんの一部でしたが、毎回とても楽しいのです。

初日に一番前の端の席に座ったのが運の尽き。先生の質問は私から順に始まります。質問の内容が理解できず、万事休す。日本語で「わかり



ません」と答えたなら、先生が、「わからない」という言い方まで教えてくれました。「アイ デイドウン ト ヒア」。とても親近感がわき嬉しくなりました。私にとって6回では到底会話できるまでいきませんが、まだまだ続けたい気持ちでいっぱい。先生ありがとうございます。

時短で美味しいおうちごはん

青木 久枝



講座ではクッキングスクールの石澤先生にご指導していただきました。とても和やかな雰囲気、毎回楽しみに参加しました。

家庭で簡単に作れる料理をいろいろ作りました。実際に作り方を見せられるので、とても分かりやすかったです。旬の食材や栄養素、食

べ合わせも詳しく教えていただきました。何かと失敗が多い私ですが、先生がやさしく「こうするといいよ」と的確なアドバイスをしてくれました。時短で手軽に作れるメニューながら、味はとても美味しいの一言。調理後、みんなで食べる時間も毎回楽しみでした。おいしい料理を前に、会話もより弾み、素敵なりフレッシュタイムとなりました。

楽しいエコクラフト

石川 真樹子

かねてより参加しなかった「エコクラフト」に今回88才になる母と通うことができました。高齢な母が「皆様の足手まといになるのでは」と心配していましたが、先生はじめ、皆さんに温かく見守っていただき、毎回作品を完成させる事が出来ました。作品を家族に見せると、皆欲しがり瞬く間に無くなってしまうので、「作り方を教えて」とせがまれました。



る程でした。人に教えるには、学ぶ時間がもつと必要です。

楽しみながら学ぶ「エコクラフト」、各々の性格により、完成作品が少しずつ異なるのが物作りの喜びでもありました。

次回も親子で参加できたらと思っております。



公民館講座のご案内

公民館講座は、前期・後期に分かれ、さまざまな分野で開かれています。募集要項は、市の広報紙「つちうら」の4月・9月号に掲載されます。市内の各中学校区の公民館毎に募集案内が出ます。二中地区以外の講座にも応募出来ますので、興味のあるところに問い合せして下さい。

町内ウォッチング

木田余西台

自主防災組織の発足と 防災倉庫の完成

西台町内会では、区長を中心に題記の会議を重ね、平成25年9月、念願の自主防災組織の結成と防災倉庫の設置を完了しました。



この組織は災害時に町内会全員で助け合うことを目的とし、防災倉庫の資機材も、まず救助道具を中心に揃えました。購入時のポイントは、「みんなが使える・メンテナンス不要・長期間使用可能」です。

組織の基本姿勢は、「無理をせず、長い間取り組んでいける活動」が柱となっています。

組織の結成や救助機材等の購入は、防災におけるほんの入口にすぎません。究極は、万一の時にお互い



を助け合う心や行動が決め手となるのです。町内会の絆を深め合う普段のコミュニケーションを中心に、「住み良い、安心、安全の町」を目指し今後町内全体で工夫をしながら、防災に取り組んでいこうと考えています。(高橋防災部長・記)

若松町 若松町夏祭り

毎年、夏休み後半の土・日曜日、若松公園と公民館を中心に開催されるお囃子は、お祭りの約一ヶ月前から卒業生が指導に来てくれて練習を始めます。



もともと若松町にお祭りは無かったのですが、子どもの人数が多かった昭和55年に「若松町でも子どもが喜ぶお祭りをしよう」と育成会主催の「子ども祭り」が始まりました。現在は、「若松町夏祭り」として毎年開催されています。

おみこしと獅子舞が静霞園を訪問するところからスタートし、子どもたちが山車を引いて町内を練り歩きます。公園では、綿アメやポップコーン、焼きそばなどの模擬店を出して雰囲気盛り上げます。最後に、子どもたちはお土産をもらって終了。規模は小さいながらも子どもたちにとっては毎年楽しみなお祭りとなっています。

また、お囃子の練習や世代間交流などを通して、勉強や運動とは違った活躍の場を子どもたちに提供しており、何かと希薄になってきている地域教育の一環としても大きな役割を担っています。



平成 26 年 8 月 23・24 日 若松町公園にて

編集後記



「町内ウォッチング」では、地域のさまざまな行事を紹介しています。なかなか自分の地区以外の行事を知ることがないので、わたしたちも毎回楽しみにしています。これからも続けていきたいと思えます。